

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	中心市街地防犯パトロール事業		
事業担当	防災危機管理部 危機管理課		
事業種類	ハード	ソフト	
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'02	まちの顔 活気ある魅力的な中心市街地をつくる	
	'03	3 誰もが安心して、安全、快適に過ごせる環境づくりを進める	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 警察・防犯協会・商店街等】		
目的・目標		事業の概要	
市民が安心して歩ける中心市街地になっています。		市民が安心して歩ける中心市街地にするため、警察、商店街、市が連携して防犯パトロールを実施します。	

2. 事業の検証

活動指標	指標名	パトロール実施回数			単位	回
	説明・算定式	中心市街地をパトロールする回数				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	6	6	6	6	
	実績	8	7	10		
活動指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
成果指標	指標名	紅谷町犯罪件数			単位	件
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	320	320	250	200	
	実績	207	194	150		
成果指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	：予定どおり					
	遅れている理由					
平成26年度の主な取組と成果						
警察・防犯協会・商店街等の関係団体と連携した中心市街地の防犯パトロールを10回実施し、紅谷町における刑法犯認知件数は前年度と比べ44件減少しました。						
平成26年度の検証結果	A：成果があがった					

	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
事業分析	必要性	市民ニーズ 事業目的の達成状況 市の関与の必要性 その他	「防犯パトロールを強化してほしい」などの要望が市長への手紙などにより市民から寄せられています。	高低
	有効性	上位施策への貢献 市民満足度を高める方策 継続による成果向上の可能性 その他	事業の性質上、単年度のみで判断するのではなく、継続して実施していくことで、成果向上が期待できます。	高低
	妥当性	事業の目的、対象、内容 受益者負担、補助額 業務の執行体制(人員配置、業務分担) その他	治安向上には警察力が不可欠ですが、犯罪はいらぬという住民の意思を示すことが大切であり、警察や市、防犯協会、商店街等関係者の連携した活動には高い妥当性があります。	高中低
	効率性	業務プロセス改善による効率化の方策 コスト削減の可能性 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) その他	本事業は取締りや啓発活動が中心となることから、警察や市、防犯協会、商店街等の関係者が協働で作業することで、効果的に行われています。	高中低
今後に向けた課題の分析 犯罪を抑止するには警察や市、防犯協会、商店街等関係者の連携を保ち、効果的なパトロール活動を続けていく必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 予算額
事業内容		防犯パトロールの実施	防犯パトロールの実施	防犯パトロールの実施	防犯パトロールの実施
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0
執行率 (%)		-	-	-	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針 ここ数年の犯罪発生件数の低下傾向を維持できるよう、警察、防犯協会、商店街等と連携したパトロールを実施します。
課長コメント 七夕まつりの会場となる中心市街地は、まさに平塚のまちの顔です。魅力的で安心して歩ける中心市街地づくりのためには、犯罪はいらぬという住民の意思表示が必要です。これからも警察・防犯協会・商店街等と連携したパトロールを続けていきます。